

群馬県立沼田高等学校(定時制課程) 学校評価一覧表② (令和4年度版) (様式2)

羅 針 盤			達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題
評価対象	評価項目	具体的数値項目	①	②	総合			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 特色ある教育活動に積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	A	A	A	生徒アンケートA+B評価は97%である。来年度も生徒たちと社会の結びつきを深められるような学びに取り組みたい。	生徒・保護者ともに数値が高く、学校生活を充実させていると感じる。今後も社会(人と人)との結びつきを大事にした教育活動を継続させてほしい。5:30新聞等を拝見し、非常に充実した教育活動を行っていると感じた。	少人数である利点を生かし、臨機応変に教育活動を活性化させたい。学校行事や総合的な探究の時間に外部講師による講演会や研修会を企画し、社会的視野を広げると共に、多様な価値観や考え方に触れることの重要性を生徒に伝えていきたい。
		② 自分の学校が好きだと感じている生徒が80%以上である。	A	A	A	生徒アンケートA+B評価は90%である。様々な教育活動を通して、自己有用感を感じているようである。来年度も生徒の学びに向かう力を育てる教育活動を構築したい。	「生徒の主体性を大切に」活動を通じ、「自己有用感を高める教育活動を推進」し、「自分の学校が好きだ」と感じる生徒がより多くなることを期待する。	主体的に諸活動に取り組めるように対話を大切にして、様々な工夫やアイデアを尊重したい。上級生には縦割りグループによるリーダーシップ教育を行い、小さな成功・失敗体験を積み重ねて、生きる力を高めたい。
		③ 三修制を利用して、95%以上の生徒が3年間で卒業している。	A	A	A	三修制についてはほぼ全員が理解している。今年度は全員が三修制による教育課程を履修した。この制度の利点を中学生に広まるような広報活動を充実させたい。	様々な環境や特性がある生徒たちを3年間で卒業できるように様々な苦労があると思う。多くの生徒たちに実現できていて素晴らしいと感じた。四修制も選択肢として、残してほしい。	本校の大きな特徴である三修制については、引き続き理解の徹底を図る。通信科目での単位取得はもちろんだが、本校教育課程においても不振科目が出ないように指導を徹底したい。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④ 「授業がわかりやすく、授業によって学力が身につけている」と思う生徒が80%以上である。	A	A	A	生徒授業アンケートA+B評価は95%を超えている。長期休業中の課外補習等で、個別最適化学習を進めることもできた。	生徒の喜びは「わかった」「できた」だと思う。個別指導は大変ですが粘り強く丁寧に指導してほしい。引き続き、「分かりやすい」授業実践に努めてほしい。	今年度実施した各長期休業中補習を引き続き実施し、多様な進路に対応したい。生徒の授業理解度にも差があるので、個別最適化学習への取組を強めたい。特にスタディサプリやICTを活用した個別指導の工夫を重ねたい。
		3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑤ 成績不振者は全生徒の5%以下である。	A	A	A	2学期末成績不振者は4名(全体の12.5%)であった。いずれも欠席が多いことが原因である。保護者面談を行い、家庭での協力をお願いした。すでに1名が原級留置が決まっているが、他の3名は進級できるように指導したい。	保護者との連携を密にして、生徒個々に応じた「丁寧な指導」を継続してほしい。ICT活用による欠席者へのリモート授業や授業内容がつかめるシステムを確立してほしい。
	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑥ 生徒に関する情報交換を週1回以上実施している。	A	A	A	日頃から、生徒情報の共有は頻繁に行うことができた。ICT活用による打ち合わせや職員会議も職員全員が無理なくできている。	今後も「風通しの良い職場環境」を大切にしてほしい。非常に高く評価したい。	GoogleWorkspaceを活用した職員打ち合わせや職員会議により定着したペーパーレス化をさらに進めたい。また、多様な背景を抱える生徒ひとり一人に応じた指導計画、支援計画等も作成し、組織的に対応していきたい。
5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的にを行っていますか。		⑦ 生徒会活動が充実していると評価する生徒が80%以上である。	A	A	A	生徒学校アンケートA+B評価は87%である。今後も感染症対策を徹底し、生徒主体の学校行事を運営し、生徒の達成感を感じさせたい。	中学生の時に主体的に取り組む経験が少なかった生徒が多いと思います。これからも達成感を味わう経験を積んで自信を持たせてほしい。90%も積極的に取り組んでいるのは驚異的である。	クラスマッチ、校内発表会等を中心の行事として位置づけ、主体性を尊重した指導を継続する。また、生徒による中学校への情報発信を検討したい。
		⑧ いじめの発生防止に努め、いじめの解消率が100%である。	A	A	A	1月末現在のいじめ案件は0件である。生徒と職員の距離が近く、相談しやすい体制が確立されている。また、職員間の情報共有も確実に行われていることも要因だと考えられる。今後も継続したい。	「相談しやすい環境」づくりの継続を期待する。	日常的に生徒の様子をよく観察し、保護者の声にも耳を傾け、学校と家庭での情報共有を徹底して信頼関係を厚くしたい。そのためには早期発見・早期対応が第一であるので、職員間の壁のないコミュニケーションを心がけたい。
6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑨ 欠席、遅刻者数は、定時制課程としては極めて低い状態。全生徒数の5%以下である。	B	B	B	2学期までの欠席率6.6%となり、やや増加してしまった。家庭やスクールカウンセラーとの連携を密にして、改善を図りたい。また、外部機関との連携も進めており、組織的な対応を継続したい。	学校生活が充実したり、目標を持ったりしている結果が欠席率の低さに表れていると感じた。「5%」の設定なので「B」評価は仕方ない。数値の設定をあげても良いのではないかな。	長期欠席生徒への対応は定時制高校での課題だが、粘り強く保護者や外部関係機関との連携を図りたい。この地域の方々は本校教育に対して非常に協力的であるので、入学者全員が卒業できるように支援をしたい。	
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑩ 進路通信等を月1回以上発行する。	A	A	A	進路通信を毎月発行し、様々な角度からの進路情報を提供できた。また、進路イベントや卒業学年からの進路報告会、キャリア教育講演会等を実施できた。今後も外部との連携によるキャリア形成を図りたい。	今後も継続してほしい。	定時制生徒の入学までの背景は非常に複雑で、多岐にわたっている。3年生になってからの進路指導ではなく、組織的・計画的な指導を実践し、キャリア形成を後押しするための指導計画を職員間で議論をすすめたい。
		⑪ 家庭での話し合いを促し、生徒の将来の志望について理解している保護者が80%以上である。	A	A	A	保護者学校アンケートA+B評価は81%である。生徒アンケートでは84%なので、共に数値が高いが一部、進路方向に対する意見が合わない家庭もあるので、面談等を繰り返す必要がある。	進路に対する生徒と保護者との意見不一致はむしろ当然かもしれない。むしろ、80%以上はかなり高い数値である。	三者面談のみならず、家庭への電話連絡等を通して進路に関する家庭内での話し合いと共通理解を促したい。また、進路通信だけでなく、5:30新聞ミニや笑顔の5:30等で進路に関わる情報も発信していきたい。
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑫ 好ましい職業観を育成するよう、在学中に就業体験をした生徒が80%以上である。	C	C	C	アルバイトを含めた在学中の就業経験者は数値的な変化が見られず、1年生を中心に就業未経験が多い。行政機関と地域企業へのインターンシップを全員が体験できた。未就業生徒への働くことへの意識向上のために来年度も継続させたい。	情報通信技術の進歩により、新しい職業が生まれ趣味と仕事の区別ができないようなことがある。インターンシップでの体験により、視野を広げられるようにすることは大事なことだと思う。中学校は毎年受け入れているので、地元企業としてインターンシップの協力をしたい。他の企業も誘うので、ぜひ声をかけてほしい。	今年度始めたインターンシップをさらに充実させたい。単純作業のアルバイト経験だけでなく、企業の実態や自分とのつながりを幅広く体験し、自らの在り方について考えさせたい。そのために地域商工会議所や大学、同窓会、保護者等との連携を図り、学びの幅を広げたい。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑬ 学校便り等(5:30新聞及び5:30新聞ミニを含む)を月1回以上発行する。	A	A	A	保護者学校アンケートA+B評価は100%である。紙での発信だけでなく、HPやブログ等の様々なコンテンツを活用して、今後も内容を充実させたい。	今後も継続してほしい。市内中学校へ掲示して、多様な生徒たちの進路選択の幅を広げる活動をしてほしい。	来年度は年1回5:30新聞と毎月末の5:30新聞ミニの発行としたい。また、オクレンジャーの積極活用による配付物の確認や情報発信の頻度をあげたい。
		⑭ ホームページの更新を毎月実施する。	A	A	A	毎月の5:30新聞ミニ・進路通信「船出」のHP掲載により確実に更新できた。また、定時制のブログ「笑顔の5:30」が入学希望者に定着している。今後はさらに内容を充実させて、学校の雰囲気伝えたい。	様々な方法を用いての情報発信により、その効果が出ていてよかったと思う。「笑顔の5:30」はユニークなコンテンツである。	今後も定時制のホームページを更新していき、Webを活用した情報発信に努めていきたい。また、ブログ「笑顔の5:30」は外部からも高評価を得ているので、継続していきたい。
		⑮ 保護者面談の他、公開授業を年2回以上行う。	A	A	A	6月に保護者面談及び三者面談、11月に中学生等への公開授業を実施した。また、全日制職員と協力して中学校訪問を実施した。今後も定時制教育の魅力について情報発信を行いたい。	取組の継続を期待したい。定時制教育の魅力を発信してほしい。保護者の立場として、充実した定時制教育活動に感動した。他の保護者にもぜひ、見て知ってほしい。	保護者面談や公開授業は今後も継続して実施していきたい。また、中学校に本校教育の様子を生徒目線で発信し、情報提供をすすめたい。
VI 教育のデジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	⑯ ICTを活用した教育活動に80%以上の生徒が満足している。	A	A	A	学校アンケートA+B評価は生徒が94%、保護者が96%である。授業はもちろん、総合的な探究の時間や個別の小論文指導等にも活用し、効率的な学びを構築できた。今後、さらに情報リテラシーの意識向上を図りたい。	今後もICT活用はさらに求められると思う。現在でも積極的に活用していると感じた。定時制とICT活用は相性が良いと思う。	ChromebookやGoogle Workspaceを活用して、更なるICT研修や授業研究を積極的に行いたい。また、引き続き対面での個別指導も充実させ、生徒の個別の状況に配慮した指導を進めていきたい。
		11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	⑰ ICTを活用した通知に、生徒・保護者の80%以上が満足している。	A	A	A	ICTによる通知手段としてGoogle Classroomだけでなく、オクレンジャーも導入したがやや未読の保護者が多いことが課題である。今後、満足度が100%となるように既読率を向上させる取り組みをしたい。	引き続きICT活用を継続してほしい。